



# はんた 市議会だより



- 市長施政方針に対する代表質問 P.2・3
- 一般質問、8人が市政を問う! P.4~6
- 3月定例会審議結果 P.7・8
- 新年度予算の審査から P.9・10
- 文教厚生委員会の委員会活動報告 P.11
- 日本福祉大学生との意見交換会 P.11
- 令和元年度政務活動実施一覧 P.12

# 市政を問う

## 代表質問

3月定例会における「市長施政方針」に対し、2月28日に4会派が代表質問を行いました。各会派代表議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)



市長施政方針演説 (YouTube)

※詳細は、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

**問** 昨年、台風19号によるゲリラ豪雨で東日本は甚大な被害を受けましたが、半田市のゲリラ豪雨への浸水対策は大丈夫ですか。

**答** 半田市内では、木質バイオマス発電所が2か所稼働し、令和3年にはメタン発酵バイオガス発電所が稼働予定です。バイオマス産業都市という地域特性を活かし、市民や市内事業者の皆様とともに、目標の実現に挑戦していきます。

**問** 地球温暖化対策として、2050年までにCO2排出量を実質ゼロの目標を掲げられましたが、どのように取組んでいきますか。

**答** ホームページの緊急情報、閲覧板の全戸回覧、公共施設へのポスター掲示、小中学校、幼稚園・保育園、障がい者・高齢者施設へのチラシ配布を行っています。

**問** 新型コロナウイルス感染症に対する予防対策の周知はどのようになっていますか。

公明党  
山本半治

**問** 市街地の浸水リスクをゼロにすることはできませんが、排水ポンプ場の稼働水位の見直しや、更新時に排水能力の優れたポンプを採用したり、ため池改修で排水の貯留能力を高めるなど、総合的な排水対策を行っていきますか。

**答** トヨタエンタプライズに変更となり、全スタツプが館内ガイドを行えるよう、おもてなし体制の強化、オリジナル商品開発、カフェの営業時間の拡大、同社が管理する施設と、ものづくりの視点での事業連携を図り集客を促進する他、トヨタ流カイズン・マインドを取り入れた運営を予定しています。

**問** ストップモーションアニメ「ごん」を活用して半田市への愛着を深める取組みについてお尋ねします。

**答** 魅力を高めるために、新たな指定管理者がどのような事業計画を予定していますか。

**問** 半田赤レンガ建物の貯留能力を高めるなど、総合的な排水対策を行っていきますか。

できませんが、排水ポンプ場の稼働水位の見直しや、更新時に排水能力の優れたポンプを採用したり、ため池改修で排水の貯留能力を高めるなど、総合的な排水対策を行っていきます。

**問** 南吉文学の新たな魅力を再発見し、ふる里への愛着を深めていただくには最適な素材ですので、空の科学館・新美南吉記念館・観光課が連携し、多くの方にご覧いただくようにしていきます。

**問** チャレンジには失敗がつきものですが、我々はそのような職員の色をあまり見ていません。チャレンジをするには、なかなか部下を上司が

**答** 今日半田市に至る過程においては、先人たちが努力と情熱をもって、常に果敢にチャレンジし続けてきた歴史があります。人口減少を始めとする社会情勢がめまぐるしく変化する中にあるのは、現状維持や今のやり方を変えずに減らすだけといった単なる縮小の理論に陥らないことが重要であり、本市に根付く歴史や精神性を継承しつつ、本市の長所をさらに活かし、変革を起さそうというチャレンジマインドと行動によって新たな価値を生み出していくことが求められると認識し、施政の方針として取り上げたものです。

**問** 施政方針では「チャレンジを続けることが明るいまちづくりにつながる唯一の方法」と結論づけていますが、どのような理由がありますか。

**答** 新病院の経営統合については、場合によっては解消もありますか。

創造みらい半田  
久世孝宏

**問** 新病院の経営統合については、場合によっては解消もありますか。

**答** 財務の健全性については、それを支えるそれぞれの市が担保しておくことが重要であり、合意書で定めた両市の責務であります。病院の財務状況シミュレーションの結果、いずれかの病院に債務超過、資金不足などが見込まれ、その病院の設置市で支えることができなければ、統合相手の市民が過度な負担を強いられることとなります。これは合意書の解除事項にある不測の事態にあたり、経営統合の解消もやむを得ない事態に該当すると考えています。これまでの協議結果を踏まえ、市民の皆様にも納得していただけるよう、結論を導き出していきます。

**問** どのだけ守ってあげられるかに尽きます。そのような意識を広める必要があると考えますがどうですか。

**答** ご指摘の通りだと思います。チャレンジするようには言っていますが、そのような風土が醸成されていないことも認識しています。部長を含め徹底していきたいと思えます。

**問** 財政の健全性については、それを支えるそれぞれの市が担保しておくことが重要であり、合意書で定めた両市の責務であります。病院の財務状況シミュレーションの結果、いずれかの病院に債務超過、資金不足などが見込まれ、その病院の設置市で支えることができなければ、統合相手の市民が過度な負担を強いられることとなります。これは合意書の解除事項にある不測の事態にあたり、経営統合の解消もやむを得ない事態に該当すると考えています。これまでの協議結果を踏まえ、市民の皆様にも納得していただけるよう、結論を導き出していきます。

**問** 財政の健全性については、それを支えるそれぞれの市が担保しておくことが重要であり、合意書で定めた両市の責務であります。病院の財務状況シミュレーションの結果、いずれかの病院に債務超過、資金不足などが見込まれ、その病院の設置市で支えることができなければ、統合相手の市民が過度な負担を強いられることとなります。これは合意書の解除事項にある不測の事態にあたり、経営統合の解消もやむを得ない事態に該当すると考えています。これまでの協議結果を踏まえ、市民の皆様にも納得していただけるよう、結論を導き出していきます。

市政を問う 代表質問 (質問議員が執筆しています)



志民ネット 小栗佳仁

**問** 市税収入について伺います。

**答** 法人市民税につきましては、令和元年度実績により減収を見込むものの個人市民税は、雇用・所得環境の改善により、給与所得者の令和元年中の所得が増加していることから、増収を見込んでいます。固定資産税は、家屋の新増築分の増収を見込み、償却資産においても、令和元年中の企業の設備投資の増加により増収を見込むなど、市税全体として来年度の増収を見込みました。しかし、新型コロナウイルス感染症の日本経済への影響により、法人市民税の更なる減収が懸念されるところであり、今後の経済動向にも注視します。

**問** キャリア教育とアクティブラーニングの推進について伺います。

**答** キャリア教育を土台としながら、地域の教材や講師等を積極的に活用した地域との連携やアクティブラーニングの手法による学び合いにより、議員の言われるような、学力向上や相互理解

と尊重し合える人間関係の形成に繋がる教育活動を展開していきます。

**問** 排水能力の向上を図るべき対策について伺います。

**答** 過去の浸水被害を検証し、効果的な雨水管渠の整備を継続するとともに、より能力の高い排水ポンプを導入していきます。併せて、河川の流下能力を維持するため愛知県に対しても河川の堆積土の浚渫を強く要望していきます。

**問** 観光振興の目的と成果について伺います。

**答** 市外からの交流人口を増やすことに伴う消費による地域経済の活性化が第一義的な目的と成果ですが、「山車・蔵・南吉・赤レンガ」に代表される観光資源は本市の個性であり、それを活用した観光振興は、自分たちが住むまちへの愛着や誇りといった市民意識を高めていくことにも繋がります。すなわち、「市民お一人お一人が半田市を好きになっただけ」が、先人より受け継いできた伝統や文化、資産を保存・継承・発展させていく原動力となるものです。



維新・半田市民の会 中川健一

**問** 施政方針には選ばれたまちとなるための競争戦略が欠落していません。近隣市町のどこと比較をして選ばれるまちになるうとしていますか。

**答** 特定の比較対象となる市町を想定しているものはありません。まちの総合力を高め、半田を選択していただけるように取組んでいます。

**問** 半田病院と常滑市民病院との経営統合を機に、2市4町を合併し、人口30万人の中核市を目指すべきと考えます。また中核市になると児童相談所も自前で設置でき、子育て支援を充実させることができそうです。所見を伺います。

**答** 今のところ、知多地域で市町合併の機運が高まっているとは言えないのが実情です。現時点では広域による連携・取組みの拡大を進めます。また愛知県とも緊密に連携し、適切に役割分担しておりますので、市単独で児童相談所を設置する考えはありません。

**問** 2016年に市長の政策とは異なる半田

病院を高台へ移転させる政策を推進する市民団体の市民活動センターへの登録を職権乱用により拒否したことがありました。施政方針では多様性を認めたいとのことですが、今後は市長の政策と異なる政策を推進する市民団体でも市民活動センターへの登録を許可するということでしょうか。

**答** 市民活動支援センター管理規則に基づき、公益性があり、宗教的、政治的な活動に該当しない市民活動団体については、今後も公平・公正に手続きを行います。

**問** 市民がまちづくりで新たなチャレンジをしないのは、市役所主導のまちづくり、市民下請けの市民協働であるからと考えます。紺屋街道と亀崎と岩滑の景観まちづくりを題材に、見解をお尋ねします。

**答** 紺屋街道では地元住民を中心に結成された紺屋街道研究会を端緒としています。亀崎や岩滑地域では地元自治区の代表者と現地確認や意見交換を行い、地元説明会やパブリックコメントも実施をして、景観形成重点地区指定のご理解をいただいております。



# 議会用語メモ

## 一般質問

議員がその属する地方公共団体の行政全般に渡り問とい質たすこと。

一般質問は定例会（半田市では3月、6月・9月・12月の年4回開催）で行うことができます。

## 代表質問

所属会派を代表して行う質問。

半田市議会では3月定例会初日に行う、市長の施政方針に対して行うこととしていきます。

## 会派

政策的な考え方を同じくする議員同士が任意に結成する団体。

（半田市議会では2名以上で会派と認めています。）

## 質疑

議題となつている内容について、賛否等の態度決定が可能となるよう、明確な点について、提案者の説明や意見を求め明らかにすること。

# 市政を問う

## 一般質問

3月定例会における市政に関する一般質問は、3月2日、3日に行われ、8人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は6月1日頃から会議録でご覧いただけます。(会議録は市議会ホームページに掲載、半田図書館・亀崎図書館に設置します。)

※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。

### 観光振興を問う



創造みらい半田  
伊藤正興

**問** 平成27年度に観光元年を宣言してから、半田市の観光は、どのように変化しましたか。

**答** 平成26年度の観光入込客数が93万人だったのが、平成28年度は、154万人と増加し、その後も右肩上がりです。また、半田の魅力を発信する新規イベントや寿司店と連携した食の観光など、観光振興と地域経済の活性化につながっています。

**問** 半田の観光が更に充実するには新たな起爆剤が必要です。山車・蔵・南吉・赤レンガの次に何を考えていますか。

**答** 寿司や知多牛にスポットを当てた食の観光は、重要コンテンツとして拡充実施していきます。また、JR半田駅の跨線橋や蒸気機関車、鉄道資料館などの活用を計画しており、新たな半田市の象徴、観光資源としても大きな可能性を秘めていると考えています。セントレアの外国人観光客を半田に誘致

するには、知多バス半田・常滑線の活用が必須だと思いますが、どのようにお考えですか。

**答** セントレアからの観光客の移動手段の一つとして、大切な路線である」と認識しています。



**問** 今回、新たな試みとして、セントレアから知多半田駅までのバス運賃の補助制度を提案しますが、見解を伺います。

**答** 観光施設や飲食店などで割引や片道運賃負担が考えられます。しかし、課題もあり、そもそも需要が見込めるのかといった問題があります。まずは、関係事業者と意見交換し、可能性について研究していきます。

**問** 今後の半田の目指す観光について、具体的な計画や目標等があれば教えてください。

**答** 半田市ならではの観光資源を活かし、一つ訪れても楽しんでいただける、満足度の高い観光の実現を目指します。令和4年度からの産業・観光振興計画で、中長期的目標や具体的な施策を取りまとめいきます。



### 手続きのワンストップで遺族の体力的・時間的負担を軽く



公明党  
坂井美穂

**問** 家族が亡くなられた遺族が市役所で行う手続きにはどのような手続きが必要で、それぞれの窓口はどこになりますか。

**答** 死亡時の手続きとしてはまず、市民課に死亡届の提出と火葬許可の申請が必要になります。例えば75歳以上の方は、高齢介護課や国保年金課で介護保険や後期高齢者医療等に関する手続き、土地や建物を所有している方は、税務課で納税通知書等の送付先の変更、児童手当を受給されていた方は、子育て支援課で受給者の変更など、最大で11課の手続きが必要となり、内容も様々です。

**問** 遺族が市役所で行う手続きにかかる時間はどれくらいですか。

**答** 死亡届が出された場合、市民課での事務処理に約40分を要しています。その後の関係各課での手続きの時間は、例

えば75歳以上で土地や建物を所有している方は、高齢介護課での介護保険の手続きに約20分、国保年金課で後期高齢者医療や年金の手続きに約40分、税務課で送付先の変更などに約10分の合計1時間50分が必要となります。

**問** 松阪市では死亡に伴う手続きを包括的に受付・案内・相談できる窓口「おくやみコーナー」を設置することで市民の満足度が向上しています。半田市においても設置すべきであると思えますが、市長のお考えをお聞かせください。

**答** 半田市では様々な届出の簡素化を図っておりますが、死亡に関する届出については足りないと認識しております。また、お年を召された方については、図面だけでの窓口案内では難しい場合もあるため、窓口までご案内するなど、市民に寄り添った対応が必要であると思えます。「おくやみコーナー」については、できる限りのことを一度検討し、早急に対応したいと思います。



松阪市おくやみコーナー



市政を問う

一般質問 (質問議員が執筆しています)



志民ネット 小出義一

子育て支援施策を問う

問 子育てを手助けして... どの様なサポートを計画していますか。

答 地域の皆さんと子育て... 働く女性の増加による...

問 二歳調査では20%... 希望があまりないが、開設に繋がる利用人数を確認できませんでした。

答 放課後児童クラブの... 保育料は、一昨年から補助が付与されましたが、近隣自治体の中では依然高い状況です。

問 現在保育料は、クラブ毎に設定しており、令和3年度から統一の保育料とす

答 現在保育料は、クラブ毎に設定しており、令和3年度から統一の保育料とす



るよう進めていきます。

問 転入者の70%が単身... 半田市の「子育て施策」が住み良さに繋がっていないと思いませんか？

答 施策だけではなく、転入者個々の事情もあろうかと思えます。ご指摘の点は、半田市の課題だと思っています。

問 企業誘致の影響も多くの転入があります。対象となる自治体の施策も参考にしていただけないか？

答 家庭を持って入る方も安心して転入できるように、努力していきます。



維新・半田市民の会 加藤美幸

身近な地域で安心と信頼の子育て支援体制を問う

問 中学校区に設置される地域子育て支援拠点の役割は何ですか。

答 3才までの親子を対象に県の子育て支援員研修を受けた専任の職員が①子育て親士の交流の場づくり②相談・援助③地域の情報提供④講習会等の事業を実施します。

問 子育て世代包括支援センターの役割は何ですか。

答 18才までを対象に市役所2階で保健師などの専門職が医療機関等と連携しながら家庭の状況に応じた情報提供や、必要なサービスを円滑に利用できるよう支援を行っています。

問 他の自治体では身近な地域の子育て支援拠点に担当保健師制度を取り入れ、母子手帳の交付など妊娠前から子育て家庭への丁寧な面談や相談を行なうネウボウ事業に取り組んでいます。半田

市も市役所や保健センターまで行かずに専門的

な相談や支援の情報などを気軽に受けられる仕組みがあれば、育児不安を軽減し産後うつや虐待の予防にもつながり、子育て家庭にはよりよい支援と考えますか？

答 身近な場所に専門的な相談窓口の必要はありますが地域拠点への職員配置は費用対効果等の問題もあり、出来ません。

問 すべての母子を対象に心身の健康を専門的な目で確認し支援するためには、産後2〜4ヶ月の乳児全戸訪問事業は保健師を中心にどう考えますか。

答 地域・つながりや子育て情報・防災など大切な情報を伝え、身近で見守っていただく民生児童委員による訪問や面談は、それ以降の別の機会での新たな取り組みが必要と考えますが見解はどのようですか。

答 専門的な視点は特に重要な点であり、保健師が専門的な支援ができる体制を整えています。現在も連絡があれば電話や訪問など相談を行っています。民生児童委員には地域の一人として認識し地域で育てる目的で訪問をしています。



創造みらい半田 水野尚美

成人式について問う

問 成人式を開催している目的は何ですか。

答 新成人の門出を祝い、励ますことで、大人となり、社会の一員であることを自覚し、義務と責任をもって社会に参加できるようにすることを目的としています。

問 現在行われている成人式の課題はありますか。

答 第一部の式典は、多くの方から成人への門出を祝ってもらおう場であることへの新成人の自覚不足により、騒がしい状況が続いていることが課題です。

問 今後の開催について、検討会を設置する必要があるか、いかがお考えですか。

答 新たに見直しのため検討会を立ち上げることが想定されています。多くの方のご意見を伺うことは必要だと考えており、さまざまな機会を捉え、広くご意見を伺ってより良い成人式にしていきます。

下水道事業について問う

問 子どもに関わる事業として、下水道事業を子どもたちにどのように伝えていきますか。

答 毎年、市内すべての小学校4年生を対象に、「出前講座」などを行い、安全で快適な暮らしを支えていることを伝えたり、夏休みには、「親子下水道教室」で、汚水を浄化する工程や災害時の対応を伝えています。

問 半田市ホームページ「下水道キッズ」の掲載目的は何ですか。

答 子どもたちの学習意欲を支援したいという思いから掲載しています。子どもに関わることは重要と考え、半田市への愛着を高めるためにもマンホールの蓋に子どもデザインを使う考えはあります。

問 マンホール蓋の更新時期を迎えることから、子どもたちの視点でマンホール蓋のデザインに参画いただくことも選択の一つであると考え、子どもが関わる新たなデザインの新選定方法について検討します。



市政を問う

一般質問（質問議員が執筆しています）



維新・半田市民の会  
竹内 功治

子どもへの季節性インフルエンザに対する取組みを伺う

**問** 季節性インフルエンザに感染した保育園、幼稚園、子ども園、小学校の幼児・児童生徒数はどうなっていますか。

**答** 今年度は一月末時点で、感染者数は1836人です。昨年度は3520人で、およそ4人に1人が感染しています。

**問** どのような対策を行っていますのですか。

**答** 手洗い用石鹸や消毒液の設置、マスク着用等の咳エチケット、小まめな換気や加湿、欠席者が増えたら短縮授業に切り替えています。また家庭に対して予防の啓発や早目に医療機関での受診を呼び掛けるなど、蔓延防止に努めています。

**問** 対策を行っていても感染者数が多い現状をどう考えていますか。

**答** どのように対策を行っても感染を完全に防ぐことは敵しいため、被害を最小限にすることが重要と考えています。

**問** 感染症対策にはマスクの着用等の咳エチケットが、特に重要です。うつつ、またうつつされないためにマスクの着用を、徹底して指導や要請すべきでないですか。

**答** 来年度からは今までの咳エチケットやうがいなどの対策を行います。

**問** 季節性インフルエンザの感染や重症化を防ぐ対策として一番効果が高いのは予防接種です。愛知県内の10以上の市町村で費用の助成を行っています。半田市でも実施すべきでないですか。

**答** 平成6年の予防接種法改正で子どもへの接種は定期接種から除外されておき、予防接種の費用を市独自で公費負担する考えはありません。

**問** 季節性インフルエンザは集団生活する子どもから大人へ拡大し流行すると考えられています。そのために子どもへの感染を防ぐ必要があらわれます。予防接種の費用の一部助成だけでも実施すべきでないですか。

**答** 現在、費用の一部助成を実施する考えはありません。今後も従来の対策を履行し、子どもへの感染の予防に努めます。



創造みらい半田  
岩田 玲子

ごみステーションについての諸問題を解決しよう

**問** ごみステーションを大きく、又は新設することで、解決できる箇所が多くあります。しかし、造成が必要なものも多く、費用がないために諦めなければならぬ未解決ごみステーションが多く存在しています。各ステーションに応じた対応を予算を増額するなど実施する考えはありませんか。

**答** 状況に応じて対応しているところであります。予算を増額する予定はありません。

**問** ごみステーションの理由の一つに、平成5年以前に建設された大型マンションに、設置義務がないために、ごみステーションの設置されていないマンションもあることが挙げられます。現在、半田市では、4戸以上の集合住宅にはステーション設置義務があり、とても便利ですが、平成5年

以前に建てられた大型マンションにも、ごみステーションを設置していただけるよう取組む考えはありますか。



創造みらい半田  
芳金 秀展

半田市役所における働きやすい働きがいのある組織づくり

**問** 自治区や、近隣住民からご相談があれば、クリーンセンターから管理組合に対し、ごみステーション設置依頼を、地域と連携しながら更に進めていきます。

**問** ごみ出しマナーや、掃除当番等の問題で悩んでいる市民が沢山います。ごみステーションをきれいに使うための取組みを実施している地区もありますか、それを知る機会が少ないと思えます。便利で使い易いごみステーションにするため、他地区の取り組みを紹介するなど、アイデアやヒントを自治区や市民に情報提供を行う考えはありますか。

**答** 自治区や、近隣住民からご相談があれば、クリーンセンターから管理組合に対し、ごみステーション設置依頼を、地域と連携しながら更に進めていきます。

**問** 2018年度の男性職員の育児休暇取得率は12%で、総務省が発表した地方公務員全体の5.6%を上回ってはいますが、依然として低いと認識しています。

**問** 年3回の職務評価面談時に厚生労働省が推奨する「育児復帰支援プランシート」などのツールを使って情報を共有するべきだと考えますが、見解を伺います。

**答** 復帰後について所属会が少ないという声もあるため、「仕事と家庭の両立支援シート」を作成します。2020年度から、育児休暇から復帰した職員らを対象にコミュニケーションツールとして活用することを計画していきます。

**問** 2020年度に予定されている20代から30代の男性職員に対する

**答** 育児休業の取得にあたっては、職場の理解が必要な要素と捉えており、管理職に対しても研修等を通じ意識の啓発を図っていきます。

**問** 現在行われている管理職研修において、ダイバーシティマネジメント（多様性を活かした組織力強化の手法）に於いての研修も、内容に盛り込むべきと考えますが、見解を伺います。

**答** 今後、「自ら考え行動できる自立した職員」として成長できるように、職員の多様性を認め、長所を活かして働きやすい職場づくりに努め、市民サービスの向上につなげていきます。

**問** 2020年度に予定されている20代から30代の男性職員に対する

育児休業取得支援研修について、管理職にも、同様の研修を実施するべきと考えますが見解を伺います。



SDGsのゴール5,8,10達成に向けての貢献です。

市政を問う 一般質問 (質問議員が執筆しています)

# 審 議 結 果

## 令和2年第1回定例会(2月20日～3月24日)

( ) 内は議案の補足説明です。

### ■全会一致の案件

議案番号等	議案名
議案2	令和元年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計補正予算第2号(高架道路工事の前倒し実施分)
議案4	令和元年度半田市介護保険事業特別会計補正予算第4号(前年度繰越金の確定により、介護給付費準備基金の不用額を減額するもの)
議案5	令和元年度半田市立半田病院事業会計補正予算第4号(高度な医療提供に伴う一人当たりの入院単価の増や「ふるさと納税」の寄附金等)
議案7	令和2年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計予算(測量調査設計委託等)
議案10	令和2年度半田市モーターボート競走事業特別会計予算
議案11	令和2年度半田市国民健康保険事業特別会計予算(被保険者に対し、疾病・負傷・出産又は死亡に関して必要な給付を行い、社会保障及び健康の保持増進を図るもの)
議案12	令和2年度半田市介護保険事業特別会計予算(地域包括ケアシステム推進のため、令和3年度から始まる第8期介護保険事業計画策定や、低所得者保険料引き下げなどをおこなうもの)
議案13	令和2年度半田市後期高齢者医療事業特別会計予算(75歳以上の高齢者及び65歳以上74歳以下で一定の障がい者のある方を対象とした医療事業等)
議案14	令和2年度半田市立半田病院事業会計予算(新病院建設設計業務委託費や、手術支援ロボット・ダヴィンチ等の医療機器を整備するもの等)
議案15	令和2年度半田市水道事業会計予算(水道料金徴収等業務委託費等)
議案16	令和2年度半田市下水道事業会計予算(下水道使用料審議会委員報酬等)
議案17	半田市事務分掌条例の一部改正について(多文化共生に関する事務を企画部の分掌事務として位置づけるもの)
議案18	半田市職員定数条例の一部改正について(半田病院の医師や看護師等、医療従事者の職員定数を660人→700人)
議案19	半田市市税条例の一部改正について(身体障がい者等に対する軽自動車税の減免対象を拡充するもの)
議案20	半田市手数料条例の一部改正について(国の省令改正に伴い建築物エネルギー消費性能基準適合認定手数料に評価方法に該当する規定を追加するもの)
議案21	半田市学校給食特別会計設置条例の廃止について(学校給食費の会計管理事務の適正化を図るため、半田市学校給食特別会計を廃止し、令和2年度から一般会計にて管理するもの)
議案22	半田市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について(半田病院標榜科名を「神経内科」→「脳神経内科」へ改めるもの)
議案23	半田市看護師等修学資金貸与条例の一部改正について(医師の確保に繋げるため、奨学金貸与の対象を「看護師等」に「医師」を加え、医学部大学生も貸与の対象とするもの)
議案25	半田市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境調査結果の縦覧等の手続に関する条例の制定について(調査結果を県に提出に際し、調査結果を公衆に縦覧等する機会が必要なことから、その方法を定めるもの)
議案26	半田市黒石墓地区画整理事業特別会計設置条例の廃止について(一般会計と分けて経理をしていたものをやめ、一般会計に組み込むもの)
議案27	半田市国民健康保険税条例の一部改正について(国民健康保険税条例の改正に伴い、課税限度額(基礎課税額)58万円を61万円に改めるもの)
議案28	知多都市計画半田乙川中部土地区画整理事業施行条例等の一部改正について(換地をした際に発生する清算金の利率を、年6%から法定利率に変更するもの)
議案29	半田市営住宅条例の一部改正について(入居の条件として東日本大震災の被災者等を加え、敷金を不履行の債務にあてることができるようにするもの等)
議案30	半田乙川中部土地区画整理事業に伴う乙川浜田こ線橋新設工事に関する変更協定の締結について(委託工事の協定について、建物の移転遅れによる工期の遅れ、東日本大震災により設計基準が変更になり構造を変更し増額になったことを変更するもの)
議案31	和解及び損害賠償の額の決定について(平成18年の水路転落負傷事故の和解と、損害賠償額の決定について、議決を求めるもの)
議案32	市道路線の廃止について(飯森9号線を、形状の変更によって一旦廃止するもの)
議案33	市道路線の認定について(道路の寄付や見直しによって、新たに市道に認定するもの)
議案34	令和元年度半田市一般会計補正予算第5号(住吉公民館空調設備の取替工事を実施するもの)

■その他の案件

議案番号等	議案名
報告1	専決処分の報告について（家具転倒防止器具取付工事における事故の和解及び損害賠償の額の決定）
報告2	専決処分の報告について（道路管理に起因する事故の和解及び損害賠償の額の決定）
	常任委員会の中間報告（文教厚生委員会の委員会活動報告※内容は11ページに掲載）

■賛否の分かれた案件

議案番号等	議案名	創造みらい半田										公明党			維新・半田市民の会		志民ネット		自民クラブ		無所属	議決結果			
		石川英之	芳金秀展	沢田清	水野尚美	鈴木幸彦	伊藤正興	澤田勝	岩田玲子	渡辺昭司	久世孝宏	榎原伸行	山田清一	坂井美穂	山本半治	加藤美幸	中川健一	竹内功治	小栗佳仁	小出義一	新美保博		嶋崎昌弘	鈴木健一	
議案1	令和元年度半田市一般会計補正予算第4号（補正予算で生じた一般財源を将来の公共用地取得費用の財源として大規模事業用地取得基金積立金に積み立てるもの・「GIGAスクール構想」の実現に向け、小中学校へのICT環境を整備・プレミアム付商品券の未交付による余った予算の返金処理等）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	●	原案可決	
議案3	令和元年度半田市J R半田駅前土地区画整理事業特別会計補正予算第2号（調査業務委託の前倒し実施分）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案6	令和2年度半田市一般会計予算（第7次総合計画を策定する予算他・乙川東小学校増築事業・新美南吉記念館と宮池幼稚園に臭気センサーの設置等）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	●	●	●	原案可決
議案8	令和2年度半田市J R半田駅前土地区画整理事業特別会計予算（物件移転補償費等）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案9	令和2年度半田市駐車場事業特別会計予算（一般会計から2,516万7千円繰入れ、駐車場を管理するもの）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決
議案24	半田市廃棄物の減量及び処理に関する条例の一部改正について（家庭系ごみの有料化をするために処理手数料を条例で定め、事業系ごみの処理手数料の見直しを行うもの）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決

（表の見方）議は議長（採決に加わらない）、○は賛成の議員、●は反対の議員、退は退席の議員、欠は欠席の議員

補正予算に係る  
反対討論

議案1号に反対

鈴木健一議員  
今議会に上程された、補正予算に反対します。

この議案の小中学校情報ネットワーク環境施設整備費補助金は子ども達のための予算ではなく、それを取り扱う事業者の為であるからです。学校現場では、教師が不足しているとの声も上がっています。教員の負担を減らす為に予算を使うべきです。

議案1号に反対

嶋崎昌弘議員  
学校ICT環境整備の補正予算について反対です。小中学校における児童生徒一人1台端末整備に反対するわけではありません。国の時限装置にのり、毎年約三億円ものお金を払い続ける手法に疑念を持ちます。教育現場との話し合いをまとめ事業を十分に見通したうえで実施すべきです。



# 新年度予算案の審査から

3月定例会では新年度の予算について適正な審査が行われました。  
委員会でのどのような質疑が交わされているのか、その一部をお知らせします。

## 総務委員会

### 一般会計予算

**問** 令和2年度の予算編成時には経済が安定していましたが、現在は経済の先行きが不透明な状況となっており、事業に対し、どのように対応していく考えですか。

**答** 個人市民税は大きな影響はないと考えていますが法人市民税は減収が見込まれます。この減収分は財政調整基金で手当てするなど、補正予算の提出等も視野に入れ必要な手立てを講じていきます。

### 半田病院経営統合

**問** 現在の常滑市民病院は医師不足や、夜間救急診療の休止など、経営状況の悪化が懸念されています。経営統合に対し不安を感じる市民もいると考えますが、どのように説明をしていきますか。

**答** 両市長と一緒に医局への派遣要望に行くなどし、医師の確保と経営の安定に努めていきます。また、経営統合により、急性期を半田病院回復期を常滑市民病院と安心して治療を受けられる体制を整うことで理解が得られると考えています。

**問** 経営状況の調査結果を受け、双方が合意に至らない場合は経営統合を取りやめる判断はありますか。またその決定時期はいつですか。

**答** 取りやめる判断はあり得ます。令和2年度中には答えを出す予定です。

### ふるさと納税事業

**問** 入りが1千六百万円、出が2億1千万円の実績を踏まえ、今後、市としてどのような方向性ですか。

**答** 他市に税収を奪われるだけとなるよりは少しでも寄付を得て、その増額に努めていくべきだと考えています。

### 高齢者運転免許自主返納事業

**問** 返納者への記念品はバス利用券1万8千円、タクシー券は5千円ですが、市民への公平性をどのように考え設定しましたか。

**答** バス利用の促進を図る目的もあり、自主返納者に対してもバスに重点を置くこととしました。

## 文教厚生委員会

### 生活困窮者自立支援事業

**問** 引きこもり対策としてアウトリーチ支援員を設置するが、目的はなにか。またどのような業務ですか。

**答** 配置目的は、引きこもりに関する様々な「困りごと」の解決です。具体的には、中学校を卒業する不登校生徒の情報共有し、切れ目のない支援を行っていきます。

### 子育て支援センター利用促進事業費

**問** 子育て支援センターの駐車料金の無料時間の拡大は、ふるさと納税を源資にするとのことだが、継続性は確保できるのか。

**答** ふるさと納税制度で子育て支援のために毎年多くのご寄附をいただくようになり、基金残高の状況から、一定期間は事業の継続性が見込めるものと考えています。

### 市立保育園管理運営事業

**問** 保育園等の公民連携の方針はどのようですか。また、市民説明はどのように行っていますか。

**答** 市内保育園の民営化と認定こども園化を推進していきます。令和2年度から10年間で、個別施設計画を定め、適宜、地域住民や保護者に説明を行っていきます。

### 母子健康増進事業

**問** こんにちは赤ちゃん訪問で、支援につながった事例は何件ですか。また、妊娠期からの切れ目のない支援の具体的な取組みは何ですか。

**答** 赤ちゃん訪問で何った97人のうち、12人が支援に繋がっています。妊娠期からの切れ目のない支援については、母子健康手帳交付時から見守りを続け、部署を越えた情報共有や連携を図っています。

### 半田運動公園改修事業

**問** 半田運動公園陸上競技場は、改修後も現在と同様に第3種陸上競技場の公認を目指すとのことですが、その理由は何か。

**答** 陸上競技大会の記録は、公認競技場でないと公式記録として認められません。知多地域における陸上競技の振興と競技会開催場所を確保するため、整備を行いたいとするものです。

### 建設産業委員会

#### 畜産臭気監視事業

**問** いつまでにという期限を定め、畜産臭気が市民にとって気にならなくなるレベルにすることは、畜産農家のブランドイングを高めることにも繋がります。そこで、SDGsの観点を含めた臭気対策を環境基本計画に盛り込むことはできませんか。

**答** 畜産臭気については、長年の課題となっており、5年、10年後には、臭気が軽くなったかと思っただけの環境作りのために、調査研究に努め、市の政策として取り組んでいきます。

#### 墓地管理事業

**問** 合葬墓の必要性について、どのように考えていますか。

**答** 令和2年度に「半田市墓地管理計画」の策定を進める中で、考えていきます。

#### 工業団地造成事業

**問** 工業団地造成事業について、現在の状況と課題は何ですか。

**答** 中牟田における工業団地造成に係るニーズ調査の結果、8ヘクタールの事業予

定面積に対して、8ヘクタールの企業需要を確認していません。ところが、県企業庁より当該企業側の用地取得希望単価では採算がとれないと言われており、対応に苦慮しているところですよ。

**問** 当初の工業団地予定地の開発が難航する場合はスピード感を持って政治判断で別の場所へ変更することが求められます。令和2年度のいつまでに決断できますか。

**答** 企業誘致につながる用地取得のことにしましては、令和2年度の第一四半期中には、方針を明確にしたいと思っています。

#### 山車会館の整備

**問** 山車会館の整備については、産業観光振興計画に入っているものの、令和2年度の予算計画には何も載っていません。どのように取り組む考えですか。

**答** 令和2年度においても具象化は計上していません。しかし次期総合計画の策定と産業観光振興計画を策定する中で、山車会館の整備については一定の方針を示しているように、現在、関係する担当課において意見交換を行っております。

### 新年度予算等に 係る反対討論

#### 議案6・9・24号に反対

鈴木健一議員

今議会に上程された、議案第6号、第9号、第24号に対し、反対します。

3議案とも市民の利益になるとは思えず、特に第24号については、反対の立場から、2度一般質問を行った議案でもあります。

東日本大震災が起こった当時、自治体自体が考え、行動することが求められました。半田市も再考を求めます。

#### 議案6号に反対

加藤美幸議員

一般会計予算の一部である母子健康増進事業について、改善を求め反対します。

乳児家庭全戸訪問事業は全1701市町村の93・7%が保健師による訪問である現状をふまえ、半田市も生後2か月頃に保健師、それ以降は民生児童委員等が訪問するなど、全ての子育て家庭が相談しやすく安心を実感できるよう改善してください。

#### 議案6・8・9・24号に 反対

中川健一議員

施政方針にあった「住み続けたいまち」として選ばれる「都市間競争」をどう打ち勝っていくのか、予算書のど

こを読んでも全く見えません。実は半田市の予算には競争戦略が欠落しています。その結果、近隣市町との比較評価もなく、あれもこれもやりました、頑張りました、と言う自己満足のオンパレード、大本営発表予算になっています。



[令和2年度予算起立採決の様子]

## 文教厚生委員会 委員会活動報告 (要旨)

### 調査テーマ

### 「文化振興について」

半田市における「文化」の現状は、観光PRでも言われる「山車・蔵・南吉・赤レンガ」をはじめとした歴史的な文化が豊富にあり、文化芸術活動についても盛んで、半田市美術展、半田市民合唱祭、半田市民管弦楽団の定期演奏会など、いずれも多くの市民団体が活発な活動を行っています。

これら、半田市における「文化」は、どの分野においても他市に誇るべき、素晴らしいものであることは間違いありません。しかし、各分野において「文化」に関する活動が活発であるがゆえに、これまで半田市としての意思や方針が具体的に示されないまま、現在まで至っています。

「生涯学習の推進」の一部として位置付けられており、国が「文化芸術基本法」で示す方針とは、大きく乖離した取扱いとなっており、半田市の状況を踏まえ、調査研究した結果、委員から出された意見は次のような内容でありました。

市として、関わる人の輪を広げ多くの市民に興味をもってもらう施策を充実させるべきである。

以上の意見を踏まえ、当委員会は文化振興について、以下3点の提言を行いました。

一、第七次半田市総合計画の策定において、文化振興をこれまでの生涯学習の枠から外し、確実に推進するために位置づけ、文化振興基本計画を策定すること。

一、文化振興基本計画の策定においては、対象となる文化を幅広く捉えて、学識経験者や専門的な識見を有する方々を交えた会議を設置し、関係者からの幅広い意見を踏まえて進めること。

一、文化振興の所管部署については、文化振興は教育が目的でなく、まちづくりの根幹を担うべきものであることに鑑み、市長部局に置きその求められる機能を充分発揮できるようにすること。

半田市における文化振興の取扱いは、第六次半田市総合計画では、

## 日本福祉大学生との意見交換会を開催!

多くの方に市議会に関心を持っていただける「市議会だより」を目指し、半田商業高校生、半田高校生との意見交換会に続き、日本福祉大学生の皆さんからご意見をいただきました。

令和2年1月30日



### 大学生の皆さんからのご意見 (抜粋)

- ・若い世代にはSNS、例えばインスタグラムで発信してはどうか。
- ・表紙の「はんだ」が大きすぎて「市議会だより」とわかりづらいのでフォントにも注意した方がよい。  
⇒今号から表紙デザインを変更しました。
- ・全てをカラーにすると費用面で難しいのかもしれないが、一部、例えば写真のあるページだけでもカラー印刷にしてはどうか。
- ・子ども向けの華やかなページがあると良いと思う。
- ・QRコードで市ホームページ内の『市議会だよりのページ』に直接とべるとよい。  
⇒今号から変更しました。



日本福祉大学健康科学部福祉バリアフリーデザイン専修  
宮成伶芽さん、萩野憲也さん、品川千穂さん、伊藤大地さん

ご協力いただきありがとうございました。  
できることから速やかに改善し、多くの皆さまに読んでいただけるよう努めていきます。

(半田市議会広報委員会取材班)

令和元年度政務活動実施一覧

	テーマ	日程／視察先等	参加者（議席番号順）
研修	「2025年問題」 社会保障・社会福祉について	7/3～7/5	坂井・山本
	①議選監査委員の選制について ②これからの議会改革について（講師招聘）	7/31	嶋崎・小栗・小出・芳金・沢田・水野 鈴木(幸)・伊藤・山田・坂井・山本 澤田・岩田・渡邊・久世・石川
	文化振興について～生涯学習計画の改定に向けた文化振興のあり方について～（講師招聘）	7/19	嶋崎・小出・沢田・水野・伊藤・山本 竹内
	「大変革の時代自治体病院経営を考える」の研修の受講	1/22～1/23	沢田・水野・澤田・久世・石川・榊原
	公共施設の今後のあり方について	8/13	新美・小栗・水野・伊藤・山田・坂井 中川・竹内・渡邊・榊原
	災害対応と公共施設マネジメント～学校施設の多機能化・複合化の可能性	1/28	小栗・水野・山田・渡邊
	ひきこもり支援フォーラム～不登校・ひきこもり者のリカバリーと対話～	2/21～2/22	小栗・小出
研修先進地視察	①秋田県横手市行政視察(視察) ②第2回地域共生社会推進全国サミットinゆざわ(研修)	10/9～11 ①横手市	新美・嶋崎・山田・坂井・山本
	①国籍を越えた多文化共生のまちづくり(視察) ②議会活性化について(研修)	10/29～31 ①総社市	沢田・鈴木(幸)・渡邊
先進地視察	議会運営の改善および新美南吉文学を活用したまちづくりの見直しについて	11/13～11/15 松山市・高知市	新美・嶋崎・加藤・中川・竹内
	新たな官民連携の仕組み～ソーシャル・インパクト・ボンドを学ぶ～	11/7～11/8 川西市・岡山市	小出・鈴木(幸)・澤田・久世
	日本語教育が必要な児童生徒への対応	11/14～11/15 宇都宮市・可児市	水野・伊藤・澤田・渡邊・榊原
	地域公共交通の活性化を目指す！	1/23～1/24 彦根市・東近江市	鈴木(幸)・伊藤・岩田・渡邊
	ひきこもり実態調査、アプローチ、支援の方法についての調査研究	1/15～1/16 宇部市・岡山市	小栗・小出
	松阪市のおくやみコーナーの取組みについて	1/21 松阪市	山田・坂井・山本
	「ひろしま版ネウボラ」と「北九州市の子育てしやすい街No.1」の取組みについて・広島市復興まちづくりビジョンについて	1/22～1/24 北九州市・三次市・広島市	加藤・中川・竹内
資料購入	中小企業振興条例で地域をつくる増補版／久世	社会は変えられる／澤田	政務活動費
	広域連携の仕組み 一部事務組合・広域連合・連携協約の機動的な運用 改訂版／澤田	実践！公共施設マネジメント／小栗	



**5月臨時会の予定**      **5月13日(水)・5月14日(木)**  
**6月定例会の予定**      **6月9日(火)から6月19日(金)**  
 ※会期中の日程は約一週間前の会議で決定します

あとがき

令和元年度の一年間、左記の広報委員会メンバーで市議会だよりの発行をしてきました。  
元年度は、皆様により見やすく、親しまれる「議会だより」になるように、半田高校と日本福祉大学へ出かけ、意見を頂き改善もしてきました。これからも皆様に見ていただける、また、読みたくなるような議会だよりの編集に努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

広報委員会

委員長 中川健一  
副委員長 山本半治  
委員 小出義一／伊藤正興  
澤田 勝／久世孝宏

編集・発行 半田市議会

〒475-0866  
半田市東洋町2-1  
Tel 0569-84-0694  
Fax 0569-24-7185  
E-mail: gjj@city.handa.lg.jp

QRコードは機登録商標です。  
 市議会だより